

氷見市議会厚生文教委員会会議録

令和2年 9月10日(木)
氷見市庁舎委員会室
開会 午前 9時59分
閉会 午前11時39分

- 1 案件 令和2年9月定例会において厚生文教委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名
正保委員長、萬谷副委員長、穴倉委員、屋敷委員、竹岸委員、積良委員
- 3 委員外議員 萩野議長
- 4 職務のため出席した事務局職員 串田事務局長、横田副主幹
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、篠田副市長、鎌仲教育長、京田企画政策部長、藤澤総務部長、澤市民部長、大門教育次長、高田福祉介護課長、柿谷子育て支援課長、東海市民課長、宇波健康課長、大浅環境防犯課長、天坂教育総務課長、角井スポーツ振興課長 ほか関係職員
- 6 傍聴人 4人
- 7 付託議案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・正保委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、議案第66号については賛成多数により、その他の案件については全会一致をもって原案を可とすることに決した（主な質疑応答は別紙のとおり）。
 - ・委員長報告は、「予防接種事業について」を特筆することとし、作成は委員長に一任された。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和2年9月10日

氷見市議会厚生文教委員長

正保哲也

令和2年9月厚生文教委員会付託案件表

令和2年9月10日（木）午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

◎ 教育総務課等 10:00～

- ・議案第66号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第5号）中
教育総務課等所管に係る事項……………説明書P. 26
- ・議案第75号 氷見市民会館解体工事の請負契約の変更について……………議案書P. 33

◎ スポーツ振興課 10:32～

- ・議案第66号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第5号）中
スポーツ振興課所管に係る事項……………説明書P. 30

◎ 福祉介護課 10:37～

- ・議案第66号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第5号）中
福祉介護課所管に係る事項……………説明書P. 14
- ・議案第70号 令和2年度氷見市介護保険特別会計補正予算（第1号）…議案書P. 19

◎ 子育て支援課 10:48～

- ・議案第66号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第5号）中
子育て支援課所管に係る事項……………説明書P. 16

◎ 市民課 10:57～

- ・議案第66号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第5号）中
市民課所管に係る事項……………説明書P. 12
- ・議案第69号 令和2年度氷見市国民健康保険特別会計補正予算
(第2号) ………………議案書P. 15
- ・議案第71号 令和2年度氷見市後期高齢者医療事業特別会計補正予算
(第1号) ………………議案書P. 25
- ・議案第74号 氷見市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改
正について……………議案書P. 32

◎ 健康課 11:07～

- ・議案第66号 令和2年度氷見市一般会計補正予算（第5号）中
健康課所管に係る事項……………説明書P. 18

【裏面へ続く】

◎ 環境防犯課 11:20～
・議案第 66 号 令和 2 年度氷見市一般会計補正予算（第 5 号）中
環境防犯課所管に係る事項……………説明書 P. 18

(注) 一般会計における繰出金、給与費、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

教育総務課 萬谷委員	市民会館跡地等利活用検討事業費について。氷見まちなかグランドデザインの計画にあるとはいえ、コロナ禍という特殊な事情もあって、計画を策定した時と比べ世の中の事情も変わってきている中で、計画の延期や凍結は考えなかったのか。
天坂課長	氷見まちなかグランドデザインの年間スケジュールに沿った形で進めていく。
萬谷委員	どのような整備方針をどれくらい詳細に決めていくのか。
天坂課長	基本設計に反映する市民会館跡地の広場と発見館の整備、教育文化センターの今後の利活用方針、旧南大町こども園にどのような機能を持たせるのかということについてと、今後のスケジュール及び財源について検討していく。
萬谷委員	旧南大町こども園の指定管理者との契約はどのようになっていたのか。
大門教育次長	建物については、平成19年4月に社会福祉法人野の草会に無償で譲渡されており、活用する場合には野の草会との協議が必要になる。
萬谷委員	更地にして返却するという契約にはなっていなかったのか。
大門教育次長	賃借による契約ではないことから、そのような内容にはなっていない。
萬谷委員	建物の老朽化が進んでいるが、どのような目的で使用するのか。
大門教育次長	委員会の中で検討していく。
屋敷委員	小学校営繕費・中学校営繕費について。新型コロナウイルス感染症対策として、非接触型の体温計を設置する考えはないのか。
大門教育次長	国の予算である学校保健特別対策事業費補助金を活用し、各学校と協議し設置を検討していく。
積良委員	市民会館解体事業費について。市民会館解体工事契約において、約770万円増額しているが、足らない分を本事業費で賄っているのか。
天坂課長	本事業費は、解体後の有害物質の処分及び事後調査等に要する経費であり、市民会館解体工事契約とは別の物である。

積良委員	工事により発見されたP C Bのうち低濃度の物は市民会館解体工事契約の増額により対応し、高濃度の物は別に予算計上しているのはなぜか。
天坂課長	低濃度P C Bは市民会館解体工事の施工業者で処理が可能であるが、高濃度P C Bは専門事業者でないと処理ができないことから別に予算計上したものである。
積良委員	<案件外>西の杜学園の竣工後の状況について 西の杜学園の現状はどのようにになっているか。
天坂課長	学校運営については、新校舎になりゆとりのある教室配置となっていることから、授業に集中して取り組むことができていると学校から報告を受けている。先日、実施した運動会では、1年生から9年生までがのびのびと活動できていたと聞いている。校舎については、地元住民による内覧会を実施した際のアンケートによると、明るく雰囲気が良くなつたという意見がある一方で、改善の要望もあった。
積良委員	9年生だけランチルームで授業を受けているのか。
天坂課長	新型コロナウイルス感染症対策によるものだが、今後の状況により考えていきたい。
積良委員	水漏れがあったのではないか。
天坂課長	学校から報告があり、報告があった日に修繕している。
萬谷委員	<案件外>氷見市大学生等緊急修学支援金について 国の学生支援緊急給付金を受けている者を対象としているが、審査が大学の裁量によって異なることへの対応はどのように考えているか。
天坂課長	国の学生支援緊急給付金は7月末で締め切ったが、現在、追加の申請を受け付けている。その他、独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金の受給者も対象としていることから、そちらへの申請を検討していただきたいと考えている。
萬谷委員	今後の対応等は考えているのか。
天坂課長	新型コロナウイルス感染症対策の影響により真に経済的に困窮した大学生の修学の継続を支援するための給付金であることから、一定の条件を設けて学生を支援していくことをご理解いただきたい。

スポーツ振興課 萬谷委員	体育施設管理運営事業費について。指導者の育成との関連性は。
鎌仲教育長	学校開放をしていないのは氷見市だけであり、まず施設の整備を行い、スポーツ、文科系を問わず活動できるよう取り組んでいきたい。
福祉介護課 穴倉委員	<案件外>介護人材就労補助金事業について 介護人材確保の目標を2年間で40名にしているのに対し、現在3名に留まっている現状をどのように考えているか。
高田課長	市内の介護サービス事業者やハローワーク氷見にチラシやポスターを配布するほか、氷見高校において説明会を行っている。今後は、市外の高校、短大、専門学校でも説明会等を行い事業の周知に努めるとともに、更に効果が期待できる事業を検討していきたいと考えている。
子育て支援課 穴倉委員	放課後児童対策事業費について。放課後児童クラブの施設の手洗い場を自動水洗化することはできないか。
柿谷課長	現在、運営している21か所の施設との協議が必要であるが、設置の方向で考えていきたい。
柿谷課長	<案件外説明>令和2年度末での宇波保育園の閉園について 別紙のとおり
健康課 積良委員	予防接種事業費について。当初予算は何人で試算しているのか。
宇波課長	市内の65歳以上の高齢者約19,000人の内、過去の接種率から55パーセントを見込み10,110人と試算している。
積良委員	65歳以上の高齢者を無償化した場合の費用はいくらになるか。
宇波課長	1人につき1,500円かかるので、1万人で1,500万円が見込まれる。
積良委員	65歳以上の高齢者は重症化しやすいことから、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使い、予防接種を無料化するという考えはなかったのか。
林市長	65歳以上の高齢者についても小中学生同様3,000円を助成し、1,500円は自己負担していただきたい。

穴倉委員	高校生を助成の対象にする考えはないか。
林市長	あくまでインフルエンザの予防接種であり、新型コロナウイルス感染症を予防するものではない。小中学生のほうが高校生よりインフルエンザにかかりやすいことから、高校生は対象外としている。
環境防犯課 萬谷委員	氷見ふるさとエネルギー株式会社設立出資金について。株式会社の形態をとる必要性と市が出資する必要性はあるのか。
大浅課長	市が民間と協力して進めていくため株式会社としている。事業の主要なものが公共施設を対象とした電力の供給であり公共性・公益性の観点から市が主体的立場をとっている。
萬谷委員	社長を市長ではなく副市長にしているのはなぜか。
大浅課長	株式会社と市が電力需給契約を締結することから、市長が社長になった場合、同じ代表者が契約を結ぶことになるため、副市長を社長にしている。
萬谷委員	他の出資者からの確約は取れているのか。
大浅課長	準備段階から了解を得ている。
萬谷委員	北陸電力株式会社以外に出資者はいるのか。
大浅課長	会社設立時に発表したい。
萬谷委員	スケジュール的に急いでいるように思えるが、何か理由があるのか。
大浅課長	経済産業省のエネルギー構造高度化実証事業の計画に沿って行っている。
萬谷委員	市内の北陸電力株式会社からの電気の消費量は。
大浅課長	令和元年度の使用電力量は約3億キロワットアワーで、料金は約52億円である。
萬谷委員	民間の活性化に繋げていく考えはあるか。
大浅課長	大規模な発電能力が必要であり、今後、事業性について調査していく。将来的にはエネルギーの地産地消を計画している。

積良委員	500万円の出資金以外の支出の可能性はあるか。
大浅課長	事業収支の計画では赤字の見込みはなく、安定的な経営を行っていく。今後、エネルギー施策に関連した電力需要調整エネルギー・マネージメントシステムの運用業務委託については、連携して行っていきたいと考えている。
大浅課長	<案件外説明>氷見市リサイクルプラザの民間への業務委託について別紙のとおり
積良委員	民間委託をする目的は何か。
大浅課長	現在、土曜日、日曜日を閉館しているが、民間委託することにより休日の稼働が可能となり市民サービスの向上に繋がると考えている。
積良委員	事業費削減の見込みはあるか。
大浅課長	若干の削減を見込んでいる。

個人別賛否一覧（賛否が分かれた議案のみ）

委員名 案件名	自民同志会					無会派	
	屋 敷 夕 貴	萬 谷 大 作	正 保 哲 也	竹 岸 秀 晃	積 良 岳		
議案第 66 号 議案第 66 号	令和 2 年度氷見市一般会計補正 予算（第 5 号）	○	○	—	○	○	×

※「○」は賛成 「×」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席

※委員長は表決に加わらないため「—」と表示しております。